

平成29年度小牧市レジ袋削減協議会総会議事要旨

会議の名称	平成29年度小牧市レジ袋削減協議会 総会	
日 時	平成29年7月27日（木）	午後1時30分～午後2時20分
場 所	小牧市役所本庁舎 301会議室	
出席者	<p>【事業者】 加藤（ユニー(株)アピタ小牧店） 安田（尾張中央農協）</p> <p>【市民団体】 酒井・吉田（小牧市女性の会） 平野（こまき環境市民会議） 小澤（小牧市消費生活改善推進員会） 北出（ひまわり消費研究会） 東谷（小牧市子ども会連絡協議会）</p> <p>【行政】 伊藤（市民生活部長） 林（環境対策課長） 藤田（ごみ政策課長代理）</p> <p>【事務局】 林（市民生活部次長） 神谷（政策推進係長） 山中（政策推進係主査）</p>	
傍聴人	0人	
配布資料	<p>小牧市レジ袋削減協議会設置要綱</p> <p>参加者名簿</p> <p>平成28年度活動報告</p> <p>平成29年度事業（案）</p>	

(司会林課長) それでは定刻になりましたので、ただいまより「平成29年度小牧市レジ袋削減協議会」を始めさせていただきます。

本日は、天候不順の中お集まりいただき有り難うございます。また、日頃より環境行政に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この協議会に初めていらっしゃる方もありますので、会を始めます前に、委員の皆様から自己紹介をしていただきたいと思います。では、副会長の加藤様からお願いします。

(各委員自己紹介) (事務局自己紹介)

進行につきまして本来、女性の会の会長でもあります林会長にお願いするところではありますが、先日林会長から、小牧市女性の会役員交代に伴い、レジ袋削減協議会会長を辞退するとの申出がありました。そのため、このあとで新会長の選任が必要となりますけれども、新会長が選任されるまでの間、小牧市レジ袋削減協議会設置要綱第3条第5項に基づき、進行は副会長であります市民生活部長の伊藤がさせていただきます。

(伊藤副会長) みなさんこんにちは。本日は暑い中、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。また、日頃は当協議会事業にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

平成19年に小牧市でレジ袋削減シンポジウムが開催され、その翌年平成20年6月に設置がされました。その後、平成20年9月1日よりレジ袋有料化が始まりましたが、この10年ほどの間に、有料化が市民の方へも浸透し、レジ袋削減の意識が高まっておりますのも、一重に市民団体・事業者の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。今後もこの取組みを継続し、より一層浸透するように努めてまいりたいと考えております。会長が選任されるまでの進行を務めさせていただきます。

それでは次第に添って進めたいと思います。

1. 報告

要綱について (事務局より資料1ページから資料3ページを説明)

参加事業者について (事務局より資料4ページを説明)

意見等は以下のとおり

(平野委員) はじめた頃は30店舗くらいあったと思うが、参加店舗の数が減っていると感じる。理由が分からないがどうですか。

(事務局) 数のほうですけれど、ある店舗においては既にマイバッグを持ってくる率が定着したという考えから有料化をやめたところもありますし、協議会に入らなくても独自でやっていくという店舗もあります。

業種の関係で例えばドラッグストアやホームセンターなど男性客が多いところはマイバッグを持ってこない人が多いので脱退するところもあります。会社の方針として有料化はやりませんとか、なかなか色々会社の方針もあるようですので一概には減ったとは言えません。加盟していなくても有料化はしているところを我々が把握しております。減ってはいますけど広くレジ袋を使わないという意識の定着は広がっているのではないかと思います。

(伊藤副会長) 事業者のほうにもいろいろな事情があるという説明でしたけれども、ただやはり参加団体が減っているというのはこの活動をより一層活発に広げていくという中では少し気になる部分ではありますので、ここはなるべく業者が増えていくように考えていかないといかんのではないかと思います。他にいかがでしょうか。
はい、よろしいでしょうか。

2. 役員選任について

(伊藤副会長) レジ袋削減協議会設置要綱第3条第3項により、会長の互選を求めます。このたびの会長の辞任をうけ、皆様に会長を決めていただきたいと思っております。どなたか立候補はいらっしゃいますか。

(平野委員) よろしいでしょうか。レジ袋削減協議会が始まって以来ずっと女性の会の会長にやってもらってきたので、今回も新しい女性の会の会長さんにやっていただけるのであればやっていただきたいと思っております。

(伊藤副会長) 今平野委員から女性の会の会長の酒井さんとの意見がありましたが、みなさんいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員) 拍手

(伊藤副会長) 皆さんのご承認をいただきましたので、酒井さんに会長をお願いしたいと思います。

では早速ですが、ここからは新しい会長の「酒井美代子さん」に進行をお願いしたいと思います。

(酒井会長) あいさつ

3. 議題

議題(1) 平成28年度活動報告について

(事務局より資料5ページから9ページ説明)

意見等なし

議題(2) 平成29年度事業(案)について

(事務局より資料10ページ説明)

意見等は以下のとおり

(北出委員) すみません。以前30ほどの事業者が参加していたとのことでしたがこの当時でも辞退率が91%だったようなんですが、こういったことは大変かもしれませんが、その後の辞退率がもしわかれば、そして辞退率というものが定着していれば、会議に出るのが大変とかいろいろな意味合いがあって脱退をされたとかあるのでしょうか、どうでしょうか追跡調査的なものはお願いできないものなのでしょうか。

(酒井会長) 追跡調査については何年か出口調査を女性の会は続けてやったんですね。一つ一つのものではなくて同じような出口調査をした覚えなんですけどね。どうですか環境対策課としては、追跡調査については。

(北出委員) それがいいものかどうなのかはあると思いますが。本来これはレジ袋を貰わないというのが趣旨で本当の目的であって、それで定着していればある程度目標を達成しているのかなという感覚ですね。

(酒井会長) 出口調査を始めたころはずいぶんと抵抗があったお店があったり、それはその袋は農家の方からはこれは何かを入れるために必要なだとそれをなんで止めるんだということですずいぶんしかられたような出口調査をやった覚えもあります。でもだんだん回を重ねるごとに、レジ袋が有料化になったことでだんだん減っていったような気もするんですね。5円か3円かわからないですがそれでもやっぱりもったいないという気持ちでやってらっしゃったのかそれは真意はわかりませんが、何回も何回もそういう活動をすることによって年々マイバッグの持参率が増えていったのではないかなと思ったりもしております。他の方の考えはどのようかわかりませんが、私がずっと携わってきててそう思ったんですけど。

(伊藤副会長) 辞退率というのは参加事業者の店舗で調査した結果ということですね。

(事務局) 参加事業者さんに年1回の報告をいただいた結果であります。

(伊藤副会長) そうすると先ほど委員がおっしゃられたのは、脱退された店舗で辞退率が高ければ定着しているとみなしていいのではないかと、その調査をやってはどうかとそういうことですね。

(北出委員) ご迷惑になるかもしれませんね。

(事務局) それはちょっと即答は出来かねますので。

(酒井会長) 追跡調査をしてはどうかはこれから考えていくということなのかもわからないですね。

(北出委員) 一度この協議会に入っていらっしゃった事業者ならばある程度理解があるとは思いますが。何回もするわけではなくて一度だけでいいから、レジ袋の辞退率がまたもどってしまったとかそういうことでは意味がありませんからそのところは少し聞いてほしいと思いま

す。

(事務局)

たとえばフィールさんは一度この協議会に加入して脱退したんですけど有料化は続けていますので。ラ・ムーさんも協議会の参加とか有料化はやっておりませんが、店舗内での放送で「レジ袋削減にご協力ください」と放送しております。コンビニさんなどでもレジ袋をくれますけれど、どこの店舗もたぶんコンビニエンスストアかチェーンストア協会かのポスターがどこの入り口にも貼ってあります。そういった業界での取り組みがされていますね。あと店員さんもガム一個だったりするとレジ袋要りますかと聞いてくれますし、そういった意識はあるのではないかと感じております。

先ほどの今現在協議会に加盟していない店舗での調査に関しましては、今の段階では即答できませんし、店舗さんの協力も要りますし勝手にやって営業妨害になってもいけませんので、これに関しては事務局のほうで協議させてもらってもいいのでしょうか。

(酒井会長)

よろしいでしょうか。他にございませんか。

(平野委員)

近隣の市町のほうは情報がわからないのですが協議会を続けてみえるんですか。発足はしたのだけれど活動状況はどうかと。わからなければいいですが、はじめたときに犬山とか大口とかがあって最近どうかと思っ。

(事務局)

県の調査があったと思いますので協議会までは分かりませんが、レジ袋削減に取り組んでいる店舗に関しての報告はございます。それが各市町が協議会を作っているかどうかまではわかりません。

(平野委員)

あのときに他の市町がやっていたからやろうかと比較したことがあったので今はどうかと思っ。

(酒井会長)

わかりましたら教えていただければと思います。他にはございませんか。それではみなさんのご質問もないようですので、大変未熟な司会で進行がうまくいきませんでしたけど。まとめとしましては、平成28年度の活動の報告、総会とか広報こまきへ掲載したこと、外国人の方にもわかるような広報に出していただいたこと、買い物袋を持参しましょうのポスターを配布していただいたこと、レジ袋辞退率の年度比較の説明、それから小牧市レジ袋削減協議会参加事業者による辞退率の実績表、収益金の寄付をいただいている事業者の説明をしていただきました。それと29年度事業案にありますここに掲げられていることも進めていかないといけないと思いますので、皆様のご協力をお願いしたいと思います。以上でよろしいでしょうか。事務局よろしいですか。

(事務局)

先ほどの平野委員からの質問ですけど、レジ袋有料化を協定締結している店舗数の報告が各市町でありますので、協議会のほうは存続

していると思います。

(酒井会長) 他の市町でもやられているということですね。

(事務局) 町村部のほうでは無いというところもありますけど、協定のほうを結んでいるということは協議会があると思われま。

(酒井会長) 加盟店の追跡調査も機会があれば進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。他に事務局から何かありますか。

(伊藤副会長) 先ほど辞退率の調査の話で即答はできないという事務局の話でしたけれども、辞退率が定着したということならば、これはこれで結構なことですので、それはなんらか考えないといかんかなと。なんとか調査できたらいいなと思ひます。結果この取り組みがだんだん尻すぼみになっているということがみえるようであるならば、それはやっぱりよくないので、市としてもより活性化するようなことを考えていきたいと思ひます。

(酒井会長) 以上をもちまして小牧市レジ袋削減協議会を終了します。

以上